

かかりつけ医と病院を結び

# 東北中央病院 病診連携室だより

平成23年 6月 No. 35

ホームページ <http://www.tohoku-ctr-hsp.com/>

◇ 理念 ◇ 「心温かい 信頼の医療」 病院長 田中靖久



## 《 第7回開放型病床懇話会 》

一般演題  
座長 公立学校共済組合 東北中央病院 副院長/外科部長 齋藤 善広 先生  
おかベクリニック 院長 岡部 健二 先生  
「当院の在宅医療について」

症例	
75歳 男性	悪性肝臓病 C型肝炎
H11年 6月	肝臓切除(癌中) T3 N0 M0 Stage III
H12年 10月	再発 TAE(癌中)
<H13年6月より当院外来通院>	
H13年 12月	東北中央病院 放射線科 TAE
H14年 7月	東北中央病院 循環器内科でCAGG
8月	～H16年9月まで TAE 3回追加
H17年 1月	東北中央病院 外科にてフジオ波凝固
10月21日	悪化、急性肝不全のため訪問診療を始める
10月27日	家人が退院、東北中央病院 外科に再入院
11月 6日 5:26 am	永眠(75歳)



おかベクリニック院長 岡部 健二 先生

### 一般演題 (症例報告)

『当院の在宅医療について』

演者：おかベクリニック

院長 岡部 健二 先生



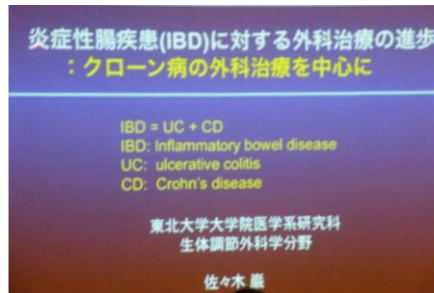
(病院長：田中靖久)



(総合司会)  
診療部長  
金谷 透

6月16日(木) ホテルキャッスル山形に於いて、『第7回開放型病床懇話会』を開催しました。日頃より、大変お世話になっている関係医療機関の先生方に御参集頂き盛大に開催されましたことに、厚く御礼申し上げます。

また、この会に際して、東北大学大学院医学系研究科生体調節外科学分野教授の佐々木巖先生には、特別講演をお引き受けくださり、重ねて厚く御礼申し上げます。岡部先生には、患者様ご本人とご家族の希望にあわせた「在宅医療」について、悪性と良性に対しての違いや、訪問看護との併用、病院との連携を図りながらの症例等を分かりやすく発表していただき、有難うございました。改めて病診連携の価値を再確認させていただきました。



### 特別講演

『炎症性腸疾患に対する外科治療の進歩』

東北大学大学院 医学系研究科

生体調節外科学分野 教授 佐々木 巖 先生



現在日本でも患者数が増え続けている「クローン病」。原因不明で特に若い人に発病が多く、完治が難しいと言われ再発率の高い病気ですが、国内外の医療現状や最先端の手術方法等を詳しく丁寧にご講演いただきました。

参加された先生方も、最先端の研究内容が分かり、大変有意義だったことと思います。

佐々木先生、大変貴重なご講演をいただきまして、ありがとうございました。



ご参加の先生より、質疑討論をいただきました。

当院では、今後も地域医療への貢献と医療技術発展のために、諸先生方のご要望をお聞きしながら、尚一層の努力を重ねて行く所存であります。

今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。



〒990-8510 山形市和合町3丁目2番5号  
公立学校共済組合 東北中央病院 病診連携室  
TEL (フリーダイヤル): 0120-703-995  
FAX (フリーダイヤル): 0120-168-990

特別講演  
座長 公立学校共済組合 東北中央病院 院長 田中 靖久 先生  
「炎症性腸疾患に対する外科治療の進歩」  
東北大学大学院 医学系研究科 生体調節外科学分野 教授 佐々木 巖 先生